

(仮称)デザイン会議まちづくり講座「まちの未来を描く。」

講座に関するアンケート 実施結果

講座終了後に参加していただいた皆様に、今回のまちづくり講座についてのアンケートを実施しました。次ページ以降にアンケート用紙及び実施結果を掲載しています。

【掲載内容】

■(仮称)デザイン会議 まちづくり講座 アンケート	2
■アンケート結果(択一式).....	4
■アンケート結果(自由記述)	7

■(仮称)デザイン会議 まちづくり講座 アンケート

令和8年3月7日
杉並区都市整備部
沿道のまちデザイン担当

(仮称) デザイン会議 まちづくり講座 アンケート

本日はご参加いただきありがとうございます。

今後の区の実施を充実したものとするため、アンケートへのご協力をお願いいたします。

右記回答フォームよりご回答ください。

回答期限：令和8年3月15日(日)



フォームでの回答が難しい場合はこの用紙にご記入いただき、お帰りの際に受付横の回収ボックスにご提出ください。

【講座内容について】

Q.講座内容はわかりやすかったですか

【第一部】饗庭 伸 講師「まちの価値と都市計画」

とてもよくわかった よくわかった やや難しかった 難しかった

【第二部】初山 真人 講師「地域経営とコミュニティデザイン」

とてもよくわかった よくわかった やや難しかった 難しかった

【第三部】講師と参加者による意見交換

とてもよくわかった よくわかった やや難しかった 難しかった

Q.講座の中で特に印象に残った点は何ですか (自由記述)

Q.講座内容は今後のまちづくりの参考になると感じましたか

とても参考になった 参考になった あまりそう思わない そう思わない

Q.前問について、なぜそう感じましたか (自由記述)

Q.今後聞いてみたいテーマや関心のあるテーマがあれば教えてください (自由記述)

(裏面へつづく)

【講座の運営等について】

Q.講座全体の時間設定や進行ペースについてどう感じましたか

ちょうどよかった 概ねよかった 長かった 短かった

Q.今後も今回のような講座があれば参加したいですか

ぜひ参加したい 内容によっては参加したい どちらでもない（検討中） 参加しない

【（仮称）デザイン会議について】

Q.これまでに（仮称）デザイン会議に参加したことがありますか

西荻窪地域 高円寺地域 南阿佐ヶ谷地域 参加したことがない

Q.今後（仮称）デザイン会議やテーマ部会に参加したいですか

引き続き参加したい 参加してみたい 参加したくない どちらでもない

Q.（仮称）デザイン会議の今後の案内をご希望される場合は、ご連絡先をご記入ください

※（仮称）デザイン会議全体会、講演会・講座等の開催についてメールにて送信いたします。
詳細な活動状況報告や各テーマ部会の開催情報は公民連携プラットフォーム「すぎなみボイス」をご確認ください。



氏名		連絡先	
住所			
メール			
地域	<input type="checkbox"/> 西荻窪地域 <input type="checkbox"/> 高円寺地域 <input type="checkbox"/> 南阿佐ヶ谷地域		

【本日の講座に参加された方について】

Q.年代を教えてください

10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上 答えたくない

Q.お住まい等について教えてください

区内在住 区内在勤 区内在学 その他（ ）

【自由意見】

※本アンケートで頂いたご意見等は、氏名、団体等の個人を特定できるような内容は伏せさせていただき、区のHP等で公表させていただく場合があります。

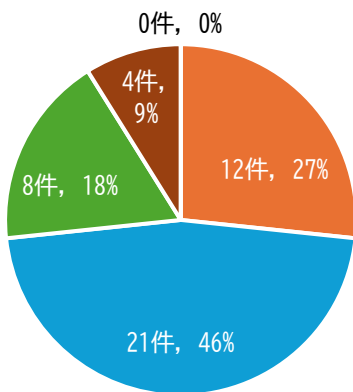
アンケートは以上となります。ご協力ありがとうございました。

■アンケート結果(択一式)

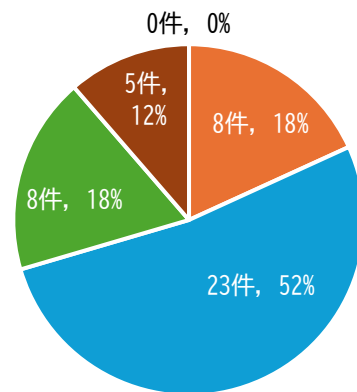
回答数者数 49人

Q.講座内容はわかりやすかったですか

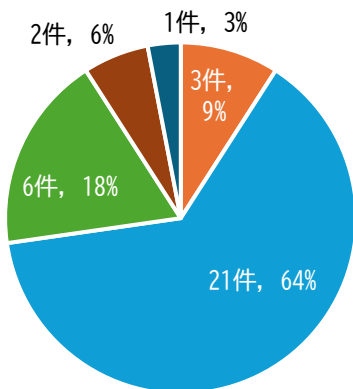
【第一部】饗庭 伸 講師「まちの価値と都市計画」



【第二部】翔山 真人 講師「地域経営とコミュニティデザイン」

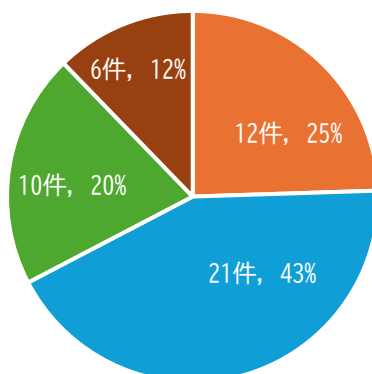


【第三部】講師と参加者による意見交換



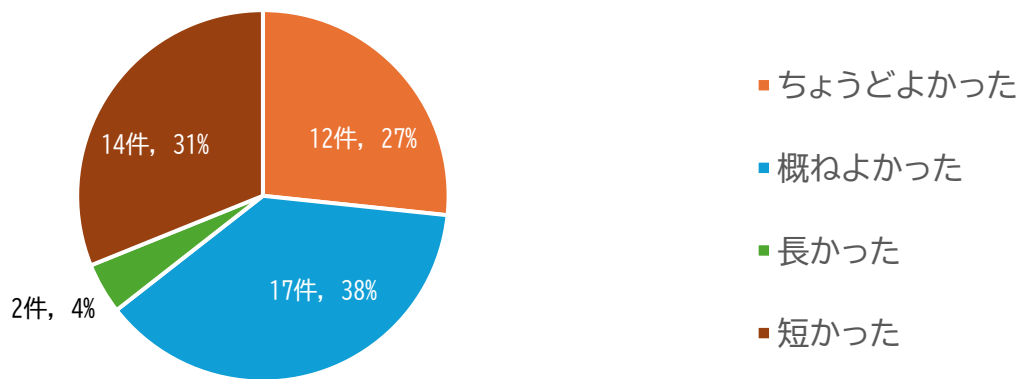
- とてもよくわかった
- よくわかった
- やや難しかった
- 難しかった
- 参加していない

Q.講座内容は今後のまちづくりの参考になると感じましたか

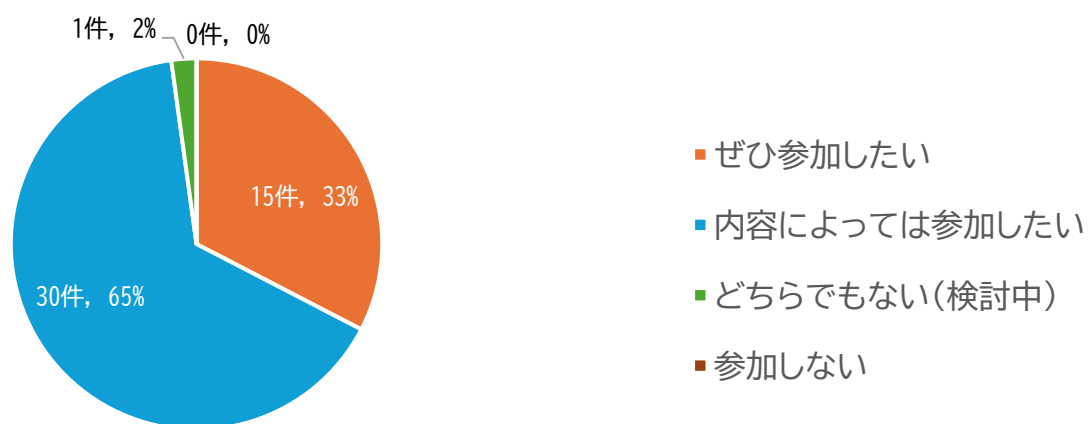


- とても参考になった
- 参考になった
- あまりそう思わない
- そう思わない

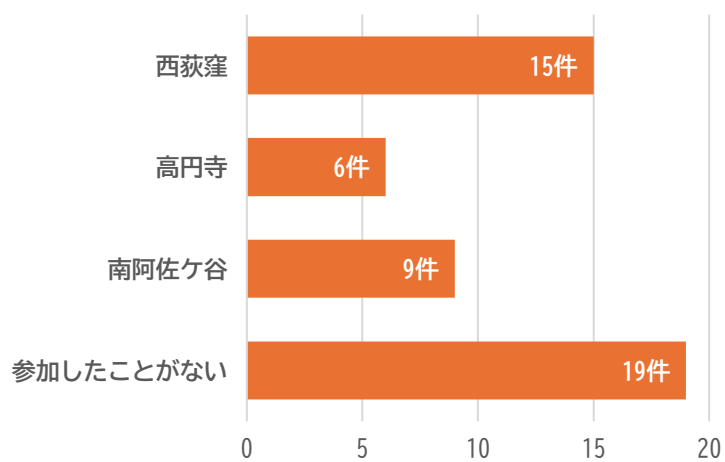
Q.講座全体の時間設定や進行ペースについてどう感じましたか



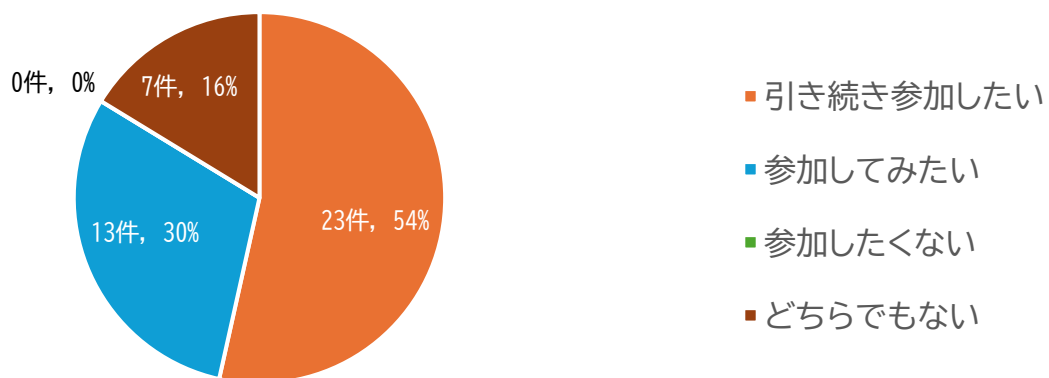
Q.今後も今回のような講座があれば参加したいですか



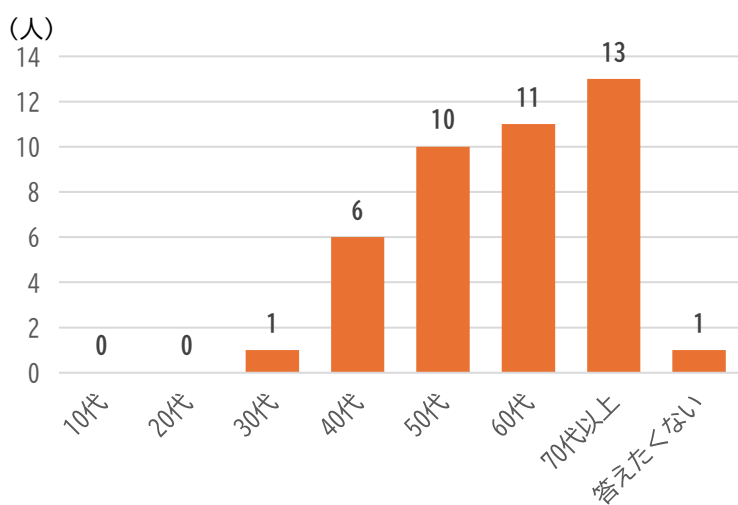
Q.これまでに(仮称)デザイン会議に参加したことがありますか



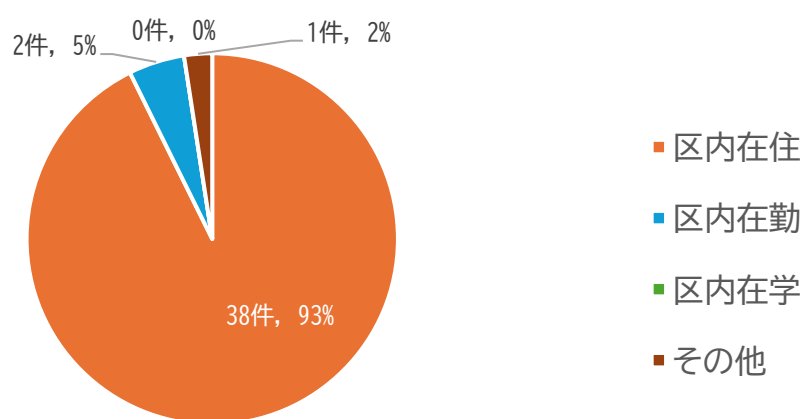
Q.今後(仮称)デザイン会議やテーマ部会に参加したいですか



Q.年代を教えてください



Q.お住まい等について教えてください



■アンケート結果(自由記述)

Q.講座の中で特に印象に残った点は何ですか

データを評価する際の「視点」についてお話いただいたのは今回の参加メンバーに最も伝えるべき事だったと思います。違う視点があるということがデザイン会議参加者へ伝わってれば良いなと思いました。

・饗庭先生の、評価と合意形成を分けるというお話。今、(仮称)デザイン会議の枠組みには評価というものがなく、それなしに合意形成をしようとするから迷走するのだと思います。評価をする人たちをもっと巻き込む、もしくは評価機能のある場への住民参加を検討する、などが必要ではと思いました。

・人口増の時代にはインフラを急速に整備するためにトップダウンが必要だったが、人口が減少するこれからの時代はボトムアップのまちづくりが重要という、靱山先生の言葉がとても腑に落ちました。

まちづくりのAI。きっと必要になると思います

いつもの事ではあるが、講演者との意見交換・質問の場でのほとんどの発言内容が、発言者の(講演内容とは直接関係無い)意見表明となっており、建設的でなく非常に残念です。

本来なら、違う意見の交換で参加者全員に「何かしら得るもの」が残る場のはずだと思うのですが、ただの承認欲求充足の場となっているのが寂しいです。

「良い未来」と「悪い未来」がありえる。

①靱山先生の資料は大変興味深い内容だったが、講演は筋が掴みにくかった。一番説明を聞きかかったのがSlide 103 以降なのだが、そこの説明がなくて残念だった。

②非常に多くの質問が出て、質疑・意見交換が活発なのが印象に残った。

行政はシンプルだが、住民の方が多様。

住民同士がまとまる事が重要だが、それが難しい?

区民と自治体の信頼関係が大切。それはお互いに努力が必要。

昔ではないので、よりコミュニティの力が必要。ハードではなく、まずは中身から(o^^o)

まちづくりは住民からのボトムアップが大事ということ

今回の2つ目のセッションについては、発表者の問題意識や結論がやや分かりにくく感じられました。

話題が多岐にわたっており、最終的に「参加者にどのような視点や課題を持ち帰ってほしいのか」というメッセージが明確ではなかったように思います。

今後の開催においては、

セッションの目的

参加者に考えてほしい論点

今後の検討にどうつながるのか

といった点を整理していただけると、議論への理解が深まるのではないのでしょうか。

都市計画は人口減少に伴い、行政のトップダウン型から住民たちが支えるボトムアップ型になる方が良いのではという靱山先生のお話。

ディベロッパーや鉄道会社への利益誘導に見えてしまう渋谷や、古くは六本木などの町づくりを見ると、別の客層が流入するのは良いことだが町の人たちが分断されてしまうし、先人たちが作ってきたその町らしさをスクラップして殺すことなく生かせる方がコストパフォーマンスの面からみてもよいような気がした。ボトムアップ型はとにかく意見や思惑がばらばらでしょうから合意形成が難しそうなので、そういう時には饗庭先生のやってこられたような住民参加型の都市計画がフィットすると感じた。

叶うならば私も ばっちりした一言で、全てが納得される「美しい瞬間」に立ち会いたいものだった。

饗庭先生の定性データと定量データについて、価値観を合わせておくことが重要

靱山先生の主体性を持つ関係人口をどれだけ増やすことができるか？という顧客との関係性再構築について

- ・全体的に講師の方の話等、途中で時間切れになった感じがしました。
- ・今の時代は行政からのトップダウン型ではなく、住民中心のボトムアップの時代であること。

なぜこのお二人が講師なのか、疑問に感じました。ピントがずれていて、「まちづくりの参考」になるとは思いません。

・冒頭の岸本区長の発言のなかで、「西荻窪地域の（仮称）デザイン会議では、人中心の道づくりや西荻窪らしいまちなみを守るルール作りなどについて考えるテーマ部会が発足していて、先月にはその部会の参加者自身が地域の方々に向けて報告会を行っていて、70名ほどが来場され、活発な議論と大変な熱量だったと聞いていて、すでに自分たちのまちのどう維持し、高めていくかの意識が地域で芽生え、動き出している。」とあったことが、住民主体の参画が進んでいて素晴らしいと印象的でした。

・講師のお話のなかで、「自治体が住民全員を顧客と言っていない時代になっている」「私は、都市計画道路について【賛成でも反対でもない立場として】「もっとおもしろいまちづくりデザインの発想をしたらよいと思う」旨の発言があったことに、「公共の責任」や『『かけがえのない暮らし』がそこに生きている（人格権・生存権）』への認識や理解が弱く、疎かになってしまうのではないかと大変不安になりました。

- ・バルセロナのスーパーブロックと杉並版スーパーブロックの実現？
- ・各エリアの個性を引き出せる指標設計が重要との点
- ・饗庭さんのお話において、評価とは「視点・データ・価値観」の組み合わせによるものであり、最後は「評価データをみながら、話をしながら合意を形成をする」ことが街の価値と都市計画など公共政策を実行する上で重要だということ。また、住民参加はデータを集めることでもあり、「一連のデータと価値観を蓄積しておき、次につなげていく」（AIを育てるなどしてもよい）というように、評価は蓄積しておくことが大事だということ。評価には、どの視点をどれくらいの割合で評価するかデータをとり、重み付けをするなどして、複数の視点を統合すること、定性データと定量データの数を集め、合意形成した価値観の基準と結び付けておくことが必要だということ

・靱山さんの地域経営とコミュニティデザインの104ページの所感メモにある5つのチェック、特に「現行案は防災・環境などの観点を掲げつつも、評価単位や加点条件が都市計画道路の線形・重複関係に強く依存しており、道路整備を前提に見えやすい構造であり、ある区間が既存の指定や計画レイヤーと地理的に重なる／接続するだけで点が入るといった"効果の量"を測ることができない。一方、中央線4駅（西荻窪・荻窪・阿佐ヶ谷・高円寺）の魅力は、細街路・横丁・木造密集の歴史性と小商いのクラスターに根差し、例えば、西荻窪アンティーク街はこのコロニー型に広がった特異な専門店街で駅前や幹線道路直結ではないにもかかわらず広域集客を形成してきた。また、戦災の影響が少なく、狭幅員の街路や横丁、文士村的文化の蓄積がアンティークらしい土地イメージを育てている。以上を踏まえ、道路整備の有無に中立で街の魅力（文化・小商い・回遊・滞留）を"機能"として測る指標へと再構築することを提案したい」と言われた点。

靱山さんが、道路ありきのまちづくりには疑問と述べられたこと。

- ・関係人口のお話で、まちの中に拠点がちりばめられ、エリアイノベーションにつなぐ
- ・AIに鋼材や議事録を格納して、かつ創造的未來の発想も加えていければ良いデザインになると思った。

靱山さんの素直な発言でした。饗庭さんのペーパー（評価）にはやはり矛盾がありますね。

西荻の方が多くて街を変えてほしい方側にいるので聞けて良かった

まちに住んでいる人だけではなく、まちに来る人の意見も大切なこと
講演内容と講演者の関心との間にズレがあり、せっかく先生方が持っている見識を第三者（地域）で生かすというところには至らなかったと思う。
トップダウンのまちづくりからボトムアップのまちづくりに時代は変わった（靱山先生）
【第三部】講師と参加者による意見交換の選択肢？参加者の思想が強い
視点は人の数だけ。そのとおりだと思った。
<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート方法 ・実施のコミュニティデザイン方法
まちの評価について
岸本区長の問題意識「定量化できないものとまちづくり」の関係して講座では、何らふれられなかった。区が、講演会の調整で与条件をどの程度話したのがギモン。基本的な実施内容の調整が行われていないと感じた。
<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりはそこに住んでいる（暮らしている）住民がつくるんだということ。 ・道路ができてできなくても、良い未来はある。問題は、行政と住民の信頼関係があるかないか。信頼関係が大事。
靱山氏の話が散漫すぎる
合意形成
特定の個人が意思をもってやっていく
<ul style="list-style-type: none"> ・講座をきくことはとても意義があると思います。これを踏まえて、住民と行政が意見を出し合う時間が欲しいです。
饗庭先生のお話は成程と思うところはあるものの、これを都市計画道路整備を含めた実現性の場にどのようにつなげていくのか、という点がイメージできなかった。冒頭の区長メッセージでも感じたが、合意形成に（重要であることを理解するが）重きを置き過ぎているのではないだろうか。
靱山先生のお話は実例が豊富でとても興味深かった。（実例が先生の考え方をよく説明していた）
靱山先生の住民の手で街をつくっていく話が印象深かった。街の魅力と、住民参加についてもとお話してほしかった。
第一部の視点、データ、価値観と分けて話して下さったのでわかりやすかった。
評価に関わる人として、行政だけでなく住民が入っている事が重要であり、そこがなかなか変えられない点だと思いました。
各先生の持ち時間が短すぎる。質問・意見交換いらないから先生に十分話を聞きたかった。
3部を設定していたのはよい。長いQAタイムなだけけど。
これがあるなら1部2部でQAコーナーなくてもいいかも。
【第二部】靱山 真人 講師「地域経営とコミュニティデザイン」：？意味がわからなかった
【第三部】講師と参加者による意見交換：？かみ合ってなかった
この講座は何の目的で、どこがゴール設定していたのか不明。第1部は都市計画実行のエビデンス説明としか聞こえず、第2部は新たな商業施設造りの宣伝に聞こえた。どういう動きで都市計画が進むのか、よくわかったが、よく理解したうえであらためて都市計画には反対の意見を言いたい。
饗庭先生の定性化データを定量化するという手法はとても印象に残った。抽象を数字に表すのは大事。靱山先生の講演の準備不足（？）さと、レジュメが合致していなくて、駅開発の自慢話を聞きに来たわけではないので、とても残念だった。地元杉並で教壇に立っている立場からもっと語れることはあったはず。

<p>靱山講師の西萩の街〇〇として、住宅街</p> <p>アンケート調査の重要性。</p> <p>西萩窪地域全体を見て考える。</p>

Q.講座内容は今後のまちづくりの参考になると思いましたか	Q.前問について、なぜそう思いましたか
とても参考になった	<p>(仮称) デザイン会議があるのは知っていましたが、自分の考えが曖昧だったので参加を躊躇っていました。今日の講座で何となく掴めた気がします。</p>
	<p>時代は変化する。 今いる人達で考えて行かないといけない。</p>
	<p>まちの価値をどう評価するか、を専門家から聞いたから</p>
	<p>饗庭先生のお話は少し難しかったが、今後のデザイン会議や街づくりの進め方を考えるにあたり、必要な視点だと思います。たくさんの方と一緒に、知識を共有できて良かったと思います。ぜひ、記録に残して、当日参加できなかった人にも共有できるようお願いいたします。映像が難しければ、録音からの文字起こしテキストでも良いと思います。</p>
	<p>饗庭さんの発言は一般論だけであり、中身がなかったのは残念でした。一方、靱山さんの発言には、杉並の現場をちゃんとみて発言した内容であり、聞いて（聴いて）いて、共感できた。意見交換でも、饗庭さんの返答は、やっぱり一般論ばかりでとてもとても残念な発言内容だった。</p>
	<p>新たな事を知りえたため</p>
	<p>新しい視点が見えた</p>
	<p>住民が主体になると</p>
	<p>周囲に同じような気持ちの関係人口がたくさんいることを再認識できたので</p>
	<p>一方で、二部の先生の肝心なところが聞けなかったのが非常に残念です。その話からはじめてほしかった！！残念！！</p>
	<p>靱山先生の話は大変面白く参考に成りました。商店街の変化と街のにぎわいの作り方への取組みが大変面白く感じました</p>
<p>ビジネス的に展開することで、共創につながる。 合意形成できるまで、話し合ってください。</p>	
参考になった	<p>こういった会議は、やはり時間のある高齢者が主体になりがちであるという点を危惧しています。 その中で、違う視点についても考える必要があるということをお話いただいたのは大きかったと思います。</p>
	<p>この会議に具体的にどう落として行けばよいかのヒントは期待していたほどは見つからなかったような気がしますが、議論の軸についての考え方が整理された気がしました</p>
	<p>饗庭氏の手法はとても実践的で、デザイン会議の強力な武器となる可能性があると感じたから。</p>

	<p>饗庭先生の都市計画に関わったご経験に基づくアドバイス、ご自身で企業を経営している靱山先生の実践例と異なるタイプの講師の先生から異なる視点のお話が聞けて大変良かった。</p>
	<p>特に印象に残った点と同じ理由から</p>
	<p>行政と住民の間で合意形成を していくこと 、行政に要求するだけでなく住民が行動して一緒にまちづくりをしていくことが 大切だと分かりました。</p>
	<p>ファンを創り、共感のクラウドファンドを集める。</p>
	<p>西荻を変えてほしい</p>
	<p>西荻の人々がなんでプロ市民みたいになっているのか？ 道をつくるのがダメな根拠を出させる会なんだと思った。</p>
	<p>饗庭氏 参考になりました。評価は行政と住民で決める必要がある、ということ。 杉並区に行った道路評価に、住民の意見が反映されていなかったことが無念</p>
	<p>靱山氏 ご自身のなさった仕事の話に終始して、本題に入らなかったことが時間の無駄だった。</p>
	<p>あいばさんの話、キホンを伝えていただけた。 もみ山さんの、住民も関係人口として、しっかりしろというメッセージ。</p>
あまりそう思わない	<p>靱山さんには、有識者のご見解として「地域経済とコミュニティデザイン」の本日の資料 104 ページの所感メモの内容についてメインでお話ししたかったから。</p>
	<p>第一部（饗庭）さわりの公式を聞いただけだった。実践的演習をしてみなければ本当の理解には至らない。 第二部（靱山） 個々の話は面白そうなものがありそうだったが、もっと突っ込んで多く引き出すには時間が無かった。 総じて時間が短すぎた。お一人40分で、質疑込は無理だったと思う。あの時間で、一人から、皆で奪う感じで臨まなければ持てるものを得られないだろうと感じた。</p>
	<p>“「景観」や「にぎわい」「歴史・文化」など定量化が困難ではあるものの大切な観点から議論し、地域の魅力をどう評価し、今後のまちづくりにどう反映させるか”に焦点が当たらなかった。</p>
	<p>まちの価値評価やボトムアップ型エリアリノベーションは考え方としてわかるものの、実際のまちづくりを行って行く上で、どの程度役立つものか想像が難しい。「トップダウン型」かもしれないが都市計画を進める観点からの専門家の話も聞いてみたい。</p>
	<p>大学の先生のような講義の内容で、生活者の視点が感じられなかった。 (饗庭先生) 私たちは学生ではないのです。</p>
	<p>饗庭先生は視点とデータと価値観とは何かという哲学的(?)話で高円</p>

	<p>寺・阿佐谷・西荻との具体的関連が見当たらない。</p> <p>靱山先生は物販業者としてのまちの味方で高円寺・阿佐谷・西荻の生活者住民のまちづくりとは一線を画している。</p> <p>意見交換が繋がっていない。時間が短すぎるし、デザイン会議の議論に継続性がない。</p> <p>私たちは、この情報を携えて、どう生かせばよいのか、区民の意見を吸い上げ有識者のメソッドを知る区役所のための勉強会では？と思った。もっと対話的なワークショップの方が区民には理解しやすいのでは。</p>
<p>そう思わない</p>	<p>今回のセッションを拝聴し、都市計画道路の検討について理解を深める機会にはなりましたが、全体として「都市計画道路が事業化されることを前提に議論が進められている」という印象を受けました。</p> <p>都市計画道路の是非は地域の将来像に大きく関わる問題であり、事業化を前提とした議論だけではなく、計画を見直す・実施しないという選択肢も含めた幅広い検討が必要ではないかと感じています。</p> <p>例えば、国内には都市計画道路を見直したり、整備を行わない判断をした自治体の事例も存在します。</p> <p>京都市や三軒茶屋周辺の道路計画では、地域環境や生活空間への影響を踏まえ、長年の議論の結果として計画の見直しや凍結が行われてきました。こうした事例は、単に道路を整備するかどうかという問題にとどまらず、歩行者中心のまちづくり 商店街や地域コミュニティの維持 生活環境の保全 といった観点から議論されてきたものです。</p> <p>今後の検討においては、道路整備を進めた事例だけでなく、整備を見送ったり見直した事例についても専門家から詳しく共有していただきたいと考えます。</p> <p>両方の知見を知ることによって、市民がより多角的に判断できるようになると思います。</p> <p>繰り返しになりますが、なぜこの方々を講師に選んだのか理解できません。饗庭さんは授業でお話ししていることを焼き直ただけですし、靱山さんはご自分の仕事を紹介していただけなので。</p> <p>第二部の102以降の説明があまり聞けなく、不満が残った。</p> <p>第一部については、「要点がつかめなかった」。どういう聴講者が来ているのかを講師にきちんと伝えていたのか？と感じた。講師が気の毒に見えた。</p> <p>開発指向の例の紹介で区民の意志と違う（？）</p> <p>デザイン会議の集約を区がどう考えているのか不安</p> <p>そもそも、車の交通量増加の前提であったりする時点で、我々がもとめる都市にそぐわない、また商業施設をかえたい希望もないのでこのテーマは参考になるとは思わなかった。</p>

Q.今後聞いてみたいテーマや関心のあるテーマがあれば教えてください

今日の後半の意見交換を聞いて思ったのは、都市計画にまつわる名称（定量とか定性とか）が、一般の人にはわかりにくいのと、まちづくりに区民が携わっていく際に必要な「お作法」みたいな知識をもっと区民も知るべきだなと思いました。私が業務で関わっているのは「アーバニスト」を育てるプログラムでして、「アーキテクト（建築家）」ではなくて、都市を楽しむ人や都市の業務に関わる人（専門家だけではなくて市民でも良いです）のことを「アーバニスト」と呼んでいる人もいまして、そうした、「アーバニストスクール」的な、まちづくりに関わる人のために、まちづくりの「お作法」を学べるプログラムを設けたりするのはどうかな、と思いました。

例えば、区と大学（靱山先生の東京女子大学？）が協働で行うのもありかと思います。

それから、「アーバニスト」を提唱している東京大学の中島直人先生に来ていただいてお話を伺うと良いかなと思いました。

長文になって失礼しました。

線路や道路で人の生活が分断されるとよく聞きます。それらを住民の活動で変えられた例があれば是非。

まちづくりについて、日頃から行政と住民が話し合いを持つ為の仕掛けについて知りたい。

西荻窪の妄想未来ビジョンを西荻窪在住の人達から聞きたい

1) 道路整備を進めた事例だけでなく、整備を見送ったり見直した事例についても専門家から詳しく共有していただきたい

2) 市民の声を丁寧に共有する場を設けていただきたいと思います。

例えば、1月締め切りとなっていたパブリックコメントについては、

提出された意見の傾向

主な論点

行政としての受け止め方

などを市民と共有する「まとめの共有会」を開催していただくことを提案します。

都市計画は長期的に地域の姿を左右する重要な政策です。

行政と市民が情報を共有し、複数の選択肢を検討しながら議論を深めていくことが、より良いまちづくりにつながると考えています。

今回のことをもっと掘り下げる落とし込み型の講座

町づくりに一端でも参加できるなんてありがたいことだなと思いますが、分からないことが多すぎて…

成田東地域の歴史と文化について

- ・階層分析法（AHP）について
- ・仮想評価法（CVM）について
- ・ネットリサーチ（例えば、饗庭さんのお話に出てきたマクロミルのオンライン調査方法など）について
- ・エリアの個性やローカル経済の指標（例えば、靱山さんのお話に出てきた独立系小商い店舗率、売上対家賃と創業／退店の回転率の健全性）について
- ・アンケート調査前の質問の仕方や方法とその議論・合意形成の方法について
- ・阿佐ヶ谷などの商店街・飲み屋街の特に個人店のつながりを中心とした社会的連帯経済のような地域経済の様子について

饗庭方式による、数値化できない視点・項目の実演評価勉強会やりたし。靱山方式ならば阿佐ヶ谷パールセ

ンターおよび並行する中杉通り商店街一体活性化計画などトライしてみたい。
・代々木公園、駒沢公園の犬との共生のエリアイノベーション ・創造的ワークショップ
より杉並や、デザイン会議に則した（具体的）内容にかかわる話を聞きたい。
ポジティブなまちづくりの話、あつまる所をどうつくるべきなのか自分事とかんがえる方法
国の法律で規定されている都市計画道路等に対する、私たち住民ができるアプローチについて聞いてみたい
東京都で杉並区と近い練馬、世田谷、武蔵野市、三鷹等とのまちづくり関連住民団体をそろえて課題と今後の手筈を共存できるテーマがあれば
一まちづくりー まちの良さをみんなで考え、意見を出していくといいと思います。まちの改善したいところも出して、どうしたらよくなるかを話し合えばいいと思う。
防災について、道路ありきではない方法
フランスの「コンセルタシオン」という法制度を学びたいです。 再開発にあたっては市民の意見を反映させることが義務付けられているわけですが、そのような制度や「市民会議」のような仕組みから、何かまちづくりのヒントを探りたいです。
生活者住民にとっての都市計画道路の存在意義について
・JRにどうしたら、もっとまちの人の声をきかせるようにできるか。東女の学生プロジェクトはいいけど、住民じゃないし。 ・税金払ってるんだから、あれやって、これやって、という意見とどうつきあえばいいのか。合意形成のノウハウとかの話かも。
地域ごとに議論を掘り下げるべき。
住民で街をつくっていく、住みやすい街をつくるには、をテーマにしたもの。ここまで商業化にむけた動きの内容でなく、もっと大きなカテゴリの講座がききたい
水害のないまちづくり

自由意見

西荻は解像度が高い気がします。

今日は興味深いお話をありがとうございました。私自身、大学で建築を学び、今はまちづくりに関する研究を企業のシンクタンク部門で行っています。ですので、どちらかというと事業者側にアドバイスをするような、靱山さんの立場に近いところにいるので、靱山さんのお話の中、市民と行政が同じ目線で、同じ方向を向いて関係性を築くべき、というお話には共感しました。

ただ、今日の会議ではまだ同じ方向に向いていないのかな、とも感じましたし、そのためには今日のような会を今後もぜひ続けていくべきだと思います。

ちなみに、私は大学が東小金井にあったので、学生時代は東小金井駅をよく使っていました。

私の学生時代の東小金井駅は駅前に畑や住宅がすぐ目の前にあるところで、靱山先生のプロジェクトが東小金井に実現するなんて、学生の頃は思ってもみなかったことです。

ですので、単純に東小金井の事例をそのまま西荻に持ち込むことは難しいですし（西荻にはすでにエッジのきいた、センスある、“裏原宿”的な個人店がたくさん集積しているので）、やはり西荻の良さ（地域性、文化性、都市構造など）を今後のまちづくりに活かしていくことが大事だと思います。それを大事にすれば、都市計画道路や再開発が実現されたとしても、文句は少ないと思います。

<p>ありがとうございました。</p>
<p>区民は地域のまちづくりに強い関心と興味があり、まちづくりに参加したいという希望があるのが良く分かります。区側は、今後とも継続して、まちづくりの考え方を区民に教授することが肝要です。</p>
<p>私は国分寺生まれで、学生時代、中央線沿線の西荻窪や高円寺には多くの思い出があります。その後、東京を離れ、長年、仙台に住んでいたのですが、昨年、東京に戻ってきました。靱山先生がいろいろな鉄道会社の仕事をしていると聞いて、中央線沿線の文化、中央線沿線の駅周辺のまちの魅力や東横線や西武線沿線との比較を聞いてみたかったです。私は高円寺～西荻までの中央線沿線というのは学生も多く、独特の文化の香りがあると考えています。都市計画道路でこれが棄損されないことを願っています。</p>
<p>都市計画だけでなく、日頃から自分の地域のまちづくりについて話せる場を区内に設置できると良いと思いました。まずは住民が自分達でまちづくりをして行く意識を持つことが必要。それには積み重ねが必要ですね。</p> <p>既存では区民センター協議会の地域懇談会が活用出来ると思います♪</p>
<p>区の職員は事前に講師と講演内容をすり合わせる必要があると感じた。第一部の講師は論点がずれていた。視点、データ、価値観の組み合わせって、わざわざ講演いただくなくとも本会議に参加するような意識を持つ人達にはわかりきった内容なので。</p>
<p>すぎなみボイスなどしっかり読むようにします。沢山発信してくださっているのにお客様気分というか自主性がなく町づくりを自分ごとと捉えてませんでした。</p> <p>世田谷区の端っこに住んでいましたが、コロナ禍中に散歩をするようになった際に緑が圧倒的に多い杉並に惹かれて数年前に久我山に引っ越してきました。</p> <p>町の人たちは親切だしお庭でお花を育てている人たちが多く、心の余裕を何となく感じました。</p> <p>阿佐ヶ谷の、区役所の通りの大きな木々は夏の暑さからも私たちを守ってくれて、素晴らしい通りと歩く度に感じます。</p> <p>杉並ボイスの言葉を借りると、ともにあゆむを掲げている杉並区がやっぱり好きだなとあらためて感じました。</p> <p>今回は参加させていただき誠にありがとうございました。</p>
<p>失敗例を聞きたいです。まちづくりに苦戦している地域の方々でも構いません。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称) デザイン会議に初めて参加してみて、対象3地域の状況は異なるが、「自分たちのまちをどのようなまちにしたいか、そこには自分はどう関われるか、どのような取り組みが必要か」そうした思いが深まる貴重な契機となった。 ・(仮称) デザイン会議の参考として、阿佐ヶ谷などの商店街・飲み屋街の特に個人店のつながりを中心とした社会的連帯経済のような地域経済の様子について調査していただけたらと思う。
<p>区民だけでなく区の職員の皆さんも参加されませんか？垣間見られ、聞かれているのですが、本格的に参加され、質疑に参加されてはいかがでしょう。</p> <p>前回の三講座といい、今回といい、盛り込みすぎ、時間不足、結果目的不明、消化不良となったのは残念。</p> <p>区が実施した都市計画道路の効果検証結果について、説明・質疑応答の機会を設けて欲しい。できれば、一定のコンセンサスを得たい。区と住民が十分に調整をしないまま、あの評価が独り歩きするのは許せない。</p>
<p>生活者がよりよく生きるモチベーションの高まるまちづくりを、緑と水とコミュニティがあふれる公園やエリアを創って行ってほしいです。包摂性、寛容性を重視したまちのデザインをしていただき、ペットも心地良い公園エリアを多くしてほしいです。創造的ワークショップをお願いしたいです。</p>
<p>吉祥寺は完成されたと思います。</p> <p>西荻はアンティーク？ポツポツとあるカフェ？</p>

<p>みりよく的でなく古いです。もう少し区長も交えて考えてデザインという言葉のを忘れないでやってほしいです。</p> <p>20年住んでいて全然良くないです。西荻は</p>
<p>西荻に比べ、高円寺は「まだまだ」ということを再認識した。</p> <p>西荻の「報告会」の高円寺の会議向けのものをやるべきと思う。</p> <p>西荻の報告会への高円寺からの参加者は、ごく少数だった。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・饗庭先生のお話ですが、「具体的な事例について、どうデータを取り、合意形成していったのか」について講義していただくとよかったですと思いました。 ・靱山先生のお話、興味深く聞きました。まちづくりと若者の発想が原宿のにぎわいをつくったのかと。
<p>ポジティブなまちづくりをしていきたい。</p> <p>自治体にたよらずに自分たちで、いい町にしていきたい。</p>
<p>また会議を開始してもらいたい</p>
<p>参加者の平均年齢が高い。将来世代の意見を入れることが必要。</p>
<p>本日のつまらん講師ではなく、まともな講師をお願いしたい。石川幹子さんとか服部圭郎さんのような。</p> <p>ただし、一部の発言には大賛成。</p>
<p>せっかくデザイン会議で盛り上がっている「まちづくり」に対する区民の意識を来年度にさらに充実させる手筈が区で検討されることをお願いしたい。</p>
<p>住民が意見を出し合って共感するのが大事だと思いました。</p>
<p>靱山氏のコンサルの商売の話で終始聞かされる。それはとても「？」</p> <p>街づくりは商売施設づくりではないのでは？</p>
<p>若手気鋭の先生方に様々な観点からのお話し頂き、大変貴重な機会でした。当初、都市計画道路整備に関する講座かと思っていましたが、お話の内容はそこに限らず都市計画・都市づくり全般に通じると感じました。</p> <p>杉並のまちがこれまで築いてきたよいところを残しつつ、新たな時代に合う姿に変化してゆけるよう願っています。</p>
<p>第3部でようやく講師（靱山氏）の意見を少しきくことができた。</p>
<p>区民と行政の方がおしつけではなく、共にまちづくりのことを学び合う場はとても貴重です。ありがとうございました。</p>
<p>講師の発表時間が短すぎる。</p> <p>講師に事前に何を中心に話してもらうか十分打合わせるべきではないか。（「まちの価値と都市計画」「地域経営とコミュニティデザイン」の目的を明確にすべきでは）</p>
<p>3部、司会さん、ちゃんとファシリテーターにしたい。住民のQの仕方が下手なのが残念なんだけど、素人だから仕方ない部分もあるので。</p> <p>↑"司会"に求めることではなかったですね。"ファシリテーター"をやるとしてはいかが？</p> <p>Qは1分以内、など明確に区切らないと、長い話の人が、他の人のQの機会をうばってしまいます。</p> <p>スーパーブロック、よさそうだけど、これだけ出されても比較対照できない。ほかに、どんな手法があるんだろうか？</p>
<p>開催どうもありがとうございました。</p>
<p>今までデザイン会議名で学習会が開かれているが、計画の進行を是とする意見を講師が出していた。（デザイン会議でも同じ）</p> <p>今回は公にそのことを語る事がなく、すっきりしている。しかし本来はメリットデメリットについて各視</p>

点から話し合いを重ねた方が良い。住民との協議を重ねて三回目を開始してほしい。

下北沢では拡幅されていない。

優先は二つ外されている。

マチガイの意見は心外！！

デザイン会議の意見交換が長期間、本論に切り込む方法を見出していない。方法論は別にある。このような講演会ではない。

都市計画ありきの会だったので残念だった。

結局何を伝えたかったのかわからなかった。

今の街のままで、どうやってよくなるか？の会の内容がよかった。

20代や30代の参加者がいない（少ない）ことに非常に不安を覚えた。おそらく告知不足の感じもあると思うが、60代・70代のシニアではなく、未来を担う若者の意見、斬新なアイデアを採り入れてほしいと思う。

（杉並区のLINEでこのような会議を重ねていることを初めて知った）杉並区に住むというブランディングが、シビックプライドがもっと醸成できるような魅力づくりを継続的に行ってほしい。

初めて来た人には、何を課題にしているのか全くわからなかった。

開発の議論に上がっているサマリーを、冒頭で説明してほしい。

何のために開いているのか、区民の愚痴を聞く場みたいになっててもう少し前向きで建設的な場になるといいと感じた。

靱山先生の講義は、街づくりのリアルな実行内容に富み大変面白かった。

気候変動の適応として、豪雨対策を区民会議で話し合うことが早急に必要です。リスクがあり、区民の命と財産に係ることです。流域治水、グリーンインフラを含めて、道の活用が重要です。